

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語講読ⅡA	
科目基礎情報							
科目番号	02128			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気・電子システム工学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	「Power On English CommunicationⅡ」(東京書籍) 「Power On English CommunicationⅡスタディノート」(東京書籍) 「COCET 2600」(成美堂)						
担当教員	市川 裕理,岡田 百合						
到達目標							
(ア) 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 (イ) 聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして、情報や考えなどを的確に理解し、伝えることができる。 (ウ) 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)		積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。		教員の助言を参考にしながら、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。		積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができない。	
評価項目(イ)		聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして、情報や考えなどを的確に理解し、伝えることができる。		教員の助言を参考にしながら、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして、情報や考えなどを的確に理解し、伝えることができる。		聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして、情報や考えなどを的確に理解し、伝えることができない。	
評価項目(ウ)		言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。		教員の助言を参考にしながら、言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。		言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
本校教育目標 ④ コミュニケーション能力							
教育方法等							
概要		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を身につける。					
授業の進め方・方法		英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして、対話的な活動を通して、英語力の向上を目指す。					
注意点		必要に応じて英語辞書を持参すること。					
選択必修の種別・旧カリ科目名							
選択必修 (英)							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
必履修							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson1 Part1		英語を通じて「異文化理解」について理解することができる。		
		2週	Lesson1 Part2		英語を通じて「異文化理解」について理解することができる。		
		3週	Lesson1 Part3		英語を通じて「異文化理解」について理解することができる。		
		4週	Lesson1 まとめ		評価項目に沿ってPerformance (プレゼンテーション)を行うことができる。		
		5週	Lesson2 Part1		英語を通じて「環境問題」について理解することができる。		
		6週	Lesson2 Part2		英語を通じて「環境問題」について理解することができる。		
		7週	Lesson2 Part3		英語を通じて「環境問題」について理解することができる。		
		8週	Lesson 2 まとめ		評価項目に沿ってPerformance (プレゼンテーション)を行うことができる。		
	2ndQ	9週	Lesson3 Part1		英語を通じて「スポーツ・友情」について理解することができる。		
		10週	Lesson3 Part2		英語を通じて「スポーツ・友情」について理解することができる。		
		11週	Lesson3 Part3		英語を通じて「スポーツ・友情」について理解することができる。		
		12週	Lesson3まとめ		評価項目に沿ってPerformance (プレゼンテーション)を行うことができる。		
		13週	Lesson4 Part1		英語を通じて「日本と外国の違いについて述べた記事」について理解することができる。		
		14週	Lesson4 Part2 まとめ		英語を通じて「日本と外国の違いについて述べた記事」について理解することができる。		

		15週	Lesson4 Part3 まとめ		英語を通じて「日本と外国の違いについて述べた記事」について理解することができる。	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前3,前6,前9,前12,前14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14	
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前15
評価割合						
		中間試験	定期試験	課題	合計	
総合評価割合		30	50	20	100	
基礎的能力		30	50	20	100	